

<様式2-1>

## 安全衛生診断実施結果報告書

(リスクアセスメント診断(一般)関係)

事業場の名称

代表者

殿

安全衛生診断員 労働安全コンサルタント

印

労働衛生コンサルタント

印

診断日(1日目) 平成 年 月 日

(2日目) 平成 年 月 日

事業場の名称				
所在地	TEL ( )			
代表者名				
事業の概要	(資本金)	労働者数		
		男	名	
	(業種(中分類))	女		名
		計		名
(主要製品等 <sup>※2</sup> )				

※1 「安全衛生診断員」欄には、労働安全コンサルタント又は労働衛生コンサルタントのいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。

※2 「(主要製品等)」については、「自動車ラジエーター」(例)のように記入すること。

労働災害 発生状況 ※4		①死亡	②休業1か月 以上又は障害 等級14級以上	③休業4日以上	④休業4日未満	計
	平成20年	人	人	人	人	人
	平成21年	人	人	人	人	人
	本年 (1月～ 月)	人	人	人	人	人

※4 「労働災害発生状況」欄には、②には①を除く数を、③には①及び②を除く数を記入すること。

(労働災害発生状況の①死亡、②休業1か月以上又は障害等級14級以上に該当する災害のうち、平成20年、21年及び本年に入って診断日までに発生した災害ごとに記入すること(ただし、外国人労働者の労働災害に関するリスクアセスメント診断(一般)チェックシート(別紙1)又は派遣労働者の労働災害に関するリスクアセスメント診断(一般)チェックシート(別紙2)を作成する場合には、外国人労働者又は派遣労働者に係る災害を省略して差し支えない。)

労働災害 発生概要	<災害発生状況>※5  <直接原因>  <間接原因>
労働災害 発生概要	<災害発生状況>  <直接原因>  <間接原因>

※5 記入に当たっては、「<災害発生状況>平成21年7月、旋盤でフランジ部品の試し切削中、部品がチャックより外れ、旋盤作業員(男)の顔に飛来し休業50日の負傷をした。<直接原因>チャックの締付けの確認が行われていなかったこと。<間接原因>作業手順書の不備と安全教育の不十分である。」(例)のように起因物、事故の型、原因(直接原因・間接原因)等を簡明に記入すること。

診断項目	現状及び指導事項
① リスクアセスメントについて	<p>1 実施中    2 準備中    3 実施予定    4 実施予定なし</p> <p>実施に際しての留意点</p>
② 作業の洗い出し及び危険性又は有害性の特定についての考え方	
③ リスク見積り及び優先順位を付ける上での考え方	
④ リスク低減措置の提案及びその考え方について	
⑤ 残留リスク対策についての考え方について	

	1 運用中    2 構築中    3 導入予定    4 導入予定なし
⑥ 労働安全衛生 マネジメントシ ステムについて	導入に際しての留意点
⑦ 外国人労働者 に係る改善事項	
⑧ 派遣労働者に 係る改善事項	
⑨ 上記以外の特 記事項	
⑩ 総合所見	

※ 改善はできるだけ速やかをお願いします。

また、改善結果を別添様式3「安全衛生診断改善報告書」に記入し、診断実施後1ヶ月以内に所轄労働局長あて提出するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付して下さい。

## 様式2-1 記載要領

### 安全衛生診断実施結果報告書 記載要領（リスクアセスメント診断（一般）関係）

- 1 「診断項目①」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。  
なお、「実施中」とは、危険性又は有害性の特定等具体的にリスクアセスメントの実施を開始している段階、「準備中」とは、具体的な実施時期を定めて担当者の養成や関係資料・情報の把握に着手している段階、「実施予定」とは、リスクアセスメント実施の意欲はあるものの、実施を事業場として正式に決定していない段階をいう。  
また、「実施中」の場合には、リスクアセスメント実施の際の労働者の参加の状況を確認するとともに、参加させていない場合は、参加の必要性を説明し、指導すること。
- 2 「診断項目②から⑤」については、1日目に実施したリスクアセスメントの内容及びその結果を踏まえて提案するリスク低減措置について、事業場における具体的な措置の実施を事業場担当者からの相談等を通して検討した結果を踏まえた記載内容とすること。
- 3 「診断項目⑥」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。  
なお、「運用中」とは、安全衛生方針の表明、安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成後、PDCAサイクルが回り始めた段階以降のことをいい、「構築中」とは、システム導入の正式決定からPDCAサイクルが回るまでの状態をいう。また、「導入予定」とは、システム導入の意欲はあるものの、導入を事業場として正式に決定していない段階をいう。
- 4 外国人労働者の労働災害に係るリスクアセスメント診断に当たっては、別紙1「外国人労働者の労働災害に関するリスクアセスメント診断チェックシート」を作成すること。
- 5 「診断項目⑦」については、別紙1に記載した外国人労働者に係る労働災害防止対策の状況について改善すべき事項等を記載すること。
- 6 派遣労働者の労働災害に関するリスクアセスメント診断に当たっては、別紙2「派遣労働者の労働災害に関するリスクアセスメント診断チェックシート」を作成すること。なお、作成に当たっては「派遣労働者に係る安全衛生管理マニュアル」を参考にすること。
- 7 「診断項目⑧」については、別紙2に記載した派遣労働者の労働災害防止対策の状況について改善すべき事項等を記載すること。
- 8 「診断項目⑩」については、診断対象事業場において今後リスクアセスメントを実施する上での留意事項等を記載すること（リスクアセスメント実施の際の労働者の参加の必要性等）。なお、診断対象事業場が既にリスクアセスメントを実施している場合にあっては、今後改善すべき点を記載すること。
- 9 リスクアセスメントの実施結果は、別表「リスク評価表①」に記載すること。
- 10 本様式の項目について、記載すべき事項がない場合はその箇所を削除し、また、記載しきれない場合は行数を増やして（ワープロ等使用）記入する等適宜変更しても差し支えないこと。